

みずほCustomer Desk Report 2019/07/18 号(As of 2019/07/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.31
TKY 9:00AM	108.20	1.1212	121.31	GBP/USD	1.2409
SYD-NY High	108.33	1.1234	121.47	AUD/USD	0.7016
SYD-NY Low	107.94	1.1200	121.18		0.7025
NY 5:00 PM	107.94	1.1226	121.18		0.6997
NY DOW	27,219.85	▲ 115.78	日本2年債	-0.1900	0.00bp
NASDAQ	8,185.21	▲ 37.59	日本10年債	-0.1300	▲ 1.00bp
S&P	2,984.42	▲ 19.62	米国2年債	1.8101	▲ 4.28bp
日経平均	21,469.18	▲ 66.07	米国5年債	1.8104	▲ 5.98bp
TOPIX	1,567.41	▲ 1.33	米国10年債	2.0425	▲ 6.27bp
シカゴ日経先物	21,330	▲ 155	独10年債	-0.2890	0.15bp
ロンドンFT	7,535.46	▲ 41.74	英10年債	0.7575	▲ 6.10bp
DAX	12,341.03	▲ 89.94	豪10年債	1.4000	1.05bp
ハンセン指数	28,593.17	▲ 26.45	USDJPY 1M Vol	5.90	0.07%
上海総合	2,931.69	▲ 5.92	USDJPY 3M Vol	6.05	0.15%
NY金	1,423.30	12.10	USDJPY 6M Vol	6.25	0.09%
WTI	56.78	▲ 0.84	USDJPY 1M 25RR	-1.05	Yen Call Over
CRB指数	179.42	▲ 0.66	EURJPY 3M Vol	6.21	0.19%
ドルインデックス	97.22	▲ 0.17	EURJPY 6M Vol	6.62	0.10%

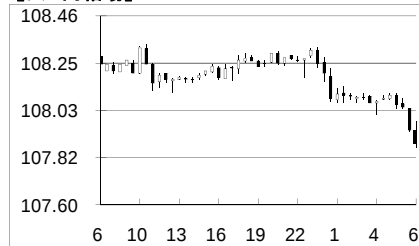
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月17日	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	6月 0.0%/2.0%	0.0%/2.0%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	6月 0.2%/1.3%	0.1%/1.2%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	6月 1,253K/1,220K	1,260K/1,300K
7月18日	-	米 ジョージ・カンザシティ連銀総裁「下振れリスクを認識すれば、見解を調整する準備がある」		
	3:00	米 ペーリュック「景気は緩やかなペースで拡大、見通し明るい」		

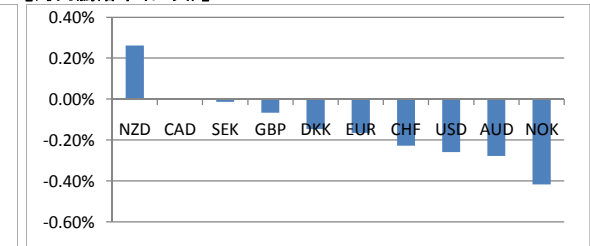
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月18日	8:50	日 貿易収支	6月 403.5b	-968.3b
	17:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	6月 -0.3%/2.6%	-0.5%/2.3%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 216K	209K
	22:30	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁講演		
7月19日	3:15	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.00-108.50	1.1200-1.1350	120.00-122.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は上昇後、下落。アジア時間は前日の良好な米指標結果を受けたドル買いの動きが継続し108円台前半で底堅く推移。欧州時間は狭いレンジでの推移となったが、北米時間入り後にIMFからドルが過大評価されているといった見解が示された他、米経済指標の軟調結果やカンザシティ連銀総裁の発言を受け反落してクローズ。本日のドル円は上値重い値動きを予想。昨日は株価の上値が重く、米金利は低下している他、金価格の上昇や、VIX指数の上昇なども見られ広範にわたってリスク回避的な値動きとなった。特段の新規材料はないものの米中貿易交渉等のリスク要因への警戒感が再度高まっていると考えられ円高リスクには警戒したい。

東京	東京時間のドル円は108.20レベルでスタート。前日の米小売売上高の上振れを受けてドル買いが先行したが、前日NY時間の高値を抜けるには至らず反落。その後は材料がないなか、動意に乏しい展開となり108.18レベルで海外時間に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.18レベルでオープン。特段材料のない中、108.17から108.30の狭いレンジで推移、108.26レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2410レベルでオープン。ハルカー英離脱担当が、「合意なき離脱に至るリスクが過小評価されている」と述べたほか、英首相有力候補のボリス・ジョンソン前相陣営が、「2020年夏の総選挙実施を計画している」との報道が見られるも、市場の反応は限定的。1.2382から1.2417の比較的狭いレンジで推移し、1.2413レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場では昨日の米小売売上高結果を受けたドル買いが継続する一方、パウエル議長の慎重な発言を受け上値追いつきは慎重な流れとなり、108.11~33でのレンジ推移となり、108.26レベルでNYオープン。朝方は、米6月住宅着工件数、建設許可件数共に予想を下回ったことから、ドル円は108.18まで下落するが、再びドル買いが強まり、108.32まで戻す。その後は、IMFが「ドルは6~12%過大評価されている。(ユーロ、円、人民元は適正範囲)」との見解を示したことや、本日からG7が開催されていることもあり、調整のドル売りが強まり、ドル円は108.07まで下落する。午後は、ペーリュック内容を受けた為替市場の反応は限定的となったが、効派で知られるジョージ・カンザシティ連銀総裁が「リスクが顕在化すれば見解を調整する準備」と話したことや、ドル円は108.01まで下落する。終盤に掛けては「米中貿易交渉は中国電子機器大手をめぐって行き詰まり」とのヘッドラインを受けドル買いが強まり107.94まで下落しクローズした。一方、ユーロドルは海外市場で1.1200まで下落するものの、ユーロ圏6月CPIが予想を上回ったことから1.1222まで戻し、1.1218レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が暫らく続くが、ドル売りが持ち込まれたことからユーロドルは上昇し、リア・イヴァア財務相の「EUの財政ルールは変更されるべき」との発言には殆ど反応は見られず、その後もドル売りが継続し、1.1234まで戻す。午後は、ドル売りが強まる局面でややユーロが買われる局面もあったものの、狭いレンジでの推移が続き、1.1226レベルでクローズした。(NY15:30)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 網島・小笠原